

2021 年度 授業計画(シラバス)						
学 科	柔道整備スポーツ学科		科目区分	その他	授業の方法	講義
科目名	アスレティックリハビリテーションⅡ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎ATルーム
担当教員	海東 翼	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
目標達成を①日本体育協会公認アスレティックトレーナー合格達成レベル(受験希望者)②使用テキスト内に記載の内容を理解し、実際の現場で使用できるようになる。とし、授業で学んだことが、実際のスポーツ現場で生かせる知識・技術となる様に進めていく。						
《成績評価の方法と基準》						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
AT教本⑦						
《授業外における学習方法》						
関連書籍を図書室等で確認することが必要です。また、PUBMED等にて関連の文献を検索し、読むことも非常に有用です。						
《履修に当たっての留意点》						
使用テキストに記載のある事を元に、学問に対する理解を深めていく。進行形態は、各項目を基礎・応用に分け、講義・実技を踏まえ、進行していく。また、一方的な授業ではなく、学生に主導権を与え、グループディスカッションや、プレゼンテーションを行う機会を設定し、思考力・指導力を養える様に授業を構成する。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	膝関節の基礎であるMCL損傷について学ぶ①		ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索	
	各コマにおける授業予定	MCL損傷に関しての発生機序から損傷を理解する。				
第2回	授業を通じての到達目標	膝関節の基礎であるMCL損傷について学ぶ②		ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索	
	各コマにおける授業予定	MCL損傷に関してのアスレティックリハビリテーションを実践できるようになる。				
第3回	授業を通じての到達目標	膝関節の基礎であるACL損傷について学ぶ①		ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索	
	各コマにおける授業予定	ACL損傷に関しての発生機序から損傷を理解する。				
第4回	授業を通じての到達目標	膝関節の基礎であるACL損傷について学ぶ②		ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索	
	各コマにおける授業予定	ACL損傷に関してのアスレティックリハビリテーションを実践できるようになる。				
第5回	授業を通じての到達目標	大腿部の基礎であるPF関節障害・大腿部肉ばなれについて学ぶ①		ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション	
	各コマにおける授業予定	PF関節障害・大腿部肉ばなれにに関しての発生機序から損傷を理解する。				

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認 と論文の検索 クラス内でのディスカ ッション
		大腿部の基礎であるPF関節障害・大腿部肉ばなれについて学 ぶ②		
第7回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認 と論文の検索 クラス内でのディスカ ッション
		PF関節障害・大腿部肉ばなれに関してのアスレティックリハビリ テーションを実践できるようになる。		
第8回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認 と論文の検索 クラス内でのディスカ ッション
		膝関節まともめを行い応用への展開ができるようになる①		
第9回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認 と論文の検索 クラス内でのディスカ ッション
		履修した内容をグループにてディスカッションし、応用へ展開さ せる。		
第10回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認 と論文の検索 クラス内でのディスカ ッション
		膝関節まともめを行い応用への展開ができるようになる②		
第11回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認 と論文の検索 クラス内でのディスカ ッション
		履修した内容をグループにてディスカッションし、応用へ展開さ せる。		
第12回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認 と論文の検索 クラス内でのディスカ ッション
		脊柱の基礎となる頸椎捻挫・バーナー症候群について学ぶ①		
第13回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認 と論文の検索 クラス内でのディスカ ッション
		頸椎捻挫・バーナー症候群に関しての発生機序から損傷を理解 する。		
第14回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認 と論文の検索 クラス内でのディスカ ッション
		脊柱の基礎となる頸椎捻挫・バーナー症候群について学ぶ②		
第15回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認 と論文の検索 クラス内でのディスカ ッション
		頸椎捻挫・バーナー症候群に関してのアスレティックリハビリテ ーションを実践できるようになる。		
第16回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認 と論文の検索 クラス内でのディスカ ッション
		脊柱の基礎となる椎間板ヘルニア・腰椎分離症・筋筋膜性腰痛 について学ぶ①		
第17回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認 と論文の検索 クラス内でのディスカ ッション
		椎間板ヘルニア・腰椎分離症・筋筋膜性腰痛に関しての発生機 序から損傷を理解する。		
第18回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認 と論文の検索 クラス内でのディスカ ッション
		脊柱の基礎となる椎間板ヘルニア・腰椎分離症・筋筋膜性腰痛 について学ぶ②		
第19回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認 と論文の検索 クラス内でのディスカ ッション
		椎間板ヘルニア・腰椎分離症・筋筋膜性腰痛に関してのアスレ ティックリハビリテーションを実践できるようになる。		
第20回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認 と論文の検索 クラス内でのディスカ ッション
		脊柱のまともめを行い応用への展開ができるようになる①		
第21回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認 と論文の検索 クラス内でのディスカ ッション
		履修した内容をグループにてディスカッションし、応用へ展開さ せる。		
第22回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認 と論文の検索 クラス内でのディスカ ッション
		履修した内容をグループにてディスカッションし、応用へ展開さ せる。		
第23回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認 と論文の検索 クラス内でのディスカ ッション
		脊柱のまともめを行い応用への展開ができるようになる②		
第24回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認 と論文の検索 クラス内でのディスカ ッション
		履修した内容をグループにてディスカッションし、応用へ展開さ せる。		
第25回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認 と論文の検索 クラス内でのディスカ ッション
		上肢の基礎である肩関節脱臼について学ぶ①		
第26回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認 と論文の検索 クラス内でのディスカ ッション
		肩関節脱臼に関しての発生機序から損傷を理解する。		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科目区分	その他	授業の方法	講義
科目名	アスレティックリハビリテーションⅡ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎ATルーム
担当教員	海東 翼	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
①アスレティックリハビリテーションの立案 ②指導 ③実施場の注意点 について学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
期末テスト 80%・平常点10%・提出物10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
AT教本⑦						
《授業外における学習方法》						
《履修に当たっての留意点》						
アスレティックリハビリテーション(以下AR)は事前に網羅しておくべき科目(知識)が非常に多く、とっかかりにくい科目であると言える。ただし、ARはケガによって一線から離脱した選手が、競技復帰する際に必須の項目(科目)であり、その立案するARの内容一つで選手のパフォーマンスが大きく変わると言っても過言ではない。選手とARを通じて時間を共にする中で、選手の競技復帰を影で支え、尽力出来るように共に学んでいきましょう！						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	上肢の基礎である肩関節脱臼について学ぶ②	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認 と論文の検索	
	各コマに おける 授業予定		肩関節脱臼に関してのアスレティックリハビリテーションを実践できるようになる。			
第17回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	上肢の基礎である肘・手関節疾患について学ぶ①	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認 と論文の検索 クラス内でのディスカッション	
	各コマに おける 授業予定		肘・手関節疾患に関しての発生機序から損傷を理解する。			
第18回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	上肢の基礎である肘・手関節疾患について学ぶ②	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認 と論文の検索 クラス内でのディスカッション	
	各コマに おける 授業予定		肘・手関節疾患に関してのアスレティックリハビリテーションを実践できるようになる。			
第19回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	上肢のまとめを行い応用への展開ができるようになる①	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認 と論文の検索 クラス内でのディスカッション	
	各コマに おける 授業予定		履修した内容をグループにてディスカッションし、応用へ展開させる。			
第20回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	上肢のまとめを行い応用への展開ができるようになる②	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認 と論文の検索 クラス内でのディスカッション	
	各コマに おける 授業予定		履修した内容をグループにてディスカッションし、応用へ展開させる。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	競技種目特性について学ぶ①		ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
	各コマにおける授業予定	競技特性に応じた発生機序から損傷を理解する。			
第22回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	競技種目特性について学ぶ②		ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
	各コマにおける授業予定	競技特性に応じたアスレティックリハビリテーションを実践できるようになる。			
第23回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	コリジョンスポーツについて学ぶ①		ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
	各コマにおける授業予定	コリジョンスポーツに応じた発生機序から損傷を理解する。			
第24回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	コリジョンスポーツについて学ぶ②		ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
	各コマにおける授業予定	コリジョンスポーツに応じたアスレティックリハビリテーションを実践できるようになる。			
第25回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	ノンコンタクトスポーツについて学ぶ①		ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
	各コマにおける授業予定	ノンコンタクトスポーツに応じた発生機序から損傷を理解する。			
第26回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	ノンコンタクトスポーツについて学ぶ②		ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
	各コマにおける授業予定	ノンコンタクトスポーツに応じたアスレティックリハビリテーションを実践できるようになる。			
第27回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	コンタクトスポーツについて学ぶ①		ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
	各コマにおける授業予定	コタクトスポーツに応じた発生機序から損傷を理解する。			
第28回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	コンタクトスポーツについて学ぶ②		ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
	各コマにおける授業予定	コタクトスポーツに応じたアスレティックリハビリテーションを実践できるようになる。			
第29回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	全講義内容もとにアスレティックリハビリテーションを総合的に判断できるようになる①		ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
	各コマにおける授業予定	発生機序から損傷を総合的に判断できるようになる。			
第30回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	全講義内容もとにアスレティックリハビリテーションを総合的に判断できるようになる①		ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
	各コマにおける授業予定	総合的に判断してアスレティックリハビリテーションを実践できるようになる。			